

東京応化工業株式会社 決算補足説明資料

-2018年12月期第3四半期決算-

2018年11月14日

東京応化工業株式会社

tok

2018/12期業績説明について

- 決算期変更に伴い、2018/9期業績説明は、
2017/9期業績を同一期間に組み替えて行っています。

※第87回定時株主総会（2017年6月28日開催）において承認（3月31日⇒12月31日）

	2017/3		2017/12			2018/12				
	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月	
国内（3月決算）		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
海外（12月決算）	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q



	3Q 10-12月	2017/12暦年補正				2018/12				
		1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月	
国内（3月決算）		3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
海外（12月決算）	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

2017/9暦年補正
2018/9

(百万円、%)

	2017/9 暦年補正	2018/9	
		増減	増減率
売上高	74,343	77,722	+3,378 +4.5
営業利益	7,653	7,728	+74 +1.0
経常利益	8,074	7,868	△205 △2.5
親会社株主に 帰属する四半期純利益	5,477	5,399	△77 △1.4

(注) 決算期変更に伴い、2017/12期暦年補正の第3四半期累計期間(1~9月)との比較になります。詳細はスライド2をご参照下さい。

- 期中平均為替 (USドル) : 110.8円/ドル (2017/9暦年補正) ⇒ 108.6円/ドル (2018/9)
- 売上高 : 材料・装置の両事業ともに前年同一期間実績を上回り、+4.5%増収。
- 営業利益 : 原料価格上昇の影響を受けたものの、装置事業の赤字縮小もあって、前年同一期間比+1.0%増益。
- 四半期純利益 : 営業利益の増加、特別損益の改善があったものの、税効果会計による特殊要因から、前年同一期間比△1.4%減益。

事業別セグメントの業績

04

(百万円、%)

	2017/9 暦年補正	2018/9	
		増減	増減率
売上高	74,343	77,722	+3,378 +4.5
材料事業	72,713	75,927	+3,214 +4.4
エレクトロニクス機能材料	42,388	43,028	+640 +1.5
高純度化学薬品	30,243	32,834	+2,591 +8.6
その他	82	64	△17 △21.6
装置事業	1,630	1,794	+163 +10.0
営業利益	7,653	7,728	+74 +1.0
材料事業	11,278	10,818	△460 △4.1
装置事業	△782	△365	+417 -
消去又は全社	△2,842	△2,724	+118 -

(注) 決算期変更に伴い、2017/12期暦年補正の第3四半期累計期間（1～9月）との比較になります。詳細はスライド2をご参照下さい。

<https://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。